

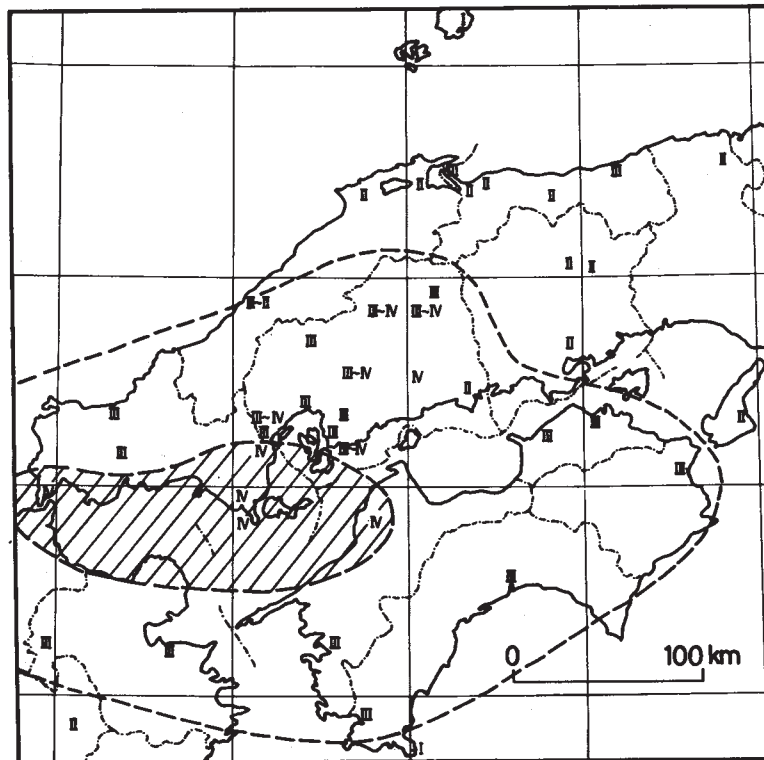
5 - 2 中国地方西部の地震活動 (1979年5月~10月)

Seismic Activity in Western Chugoku District, Southwest Japan (May ~ Oct., 1979)

東京大学地震研究所
白木微小地震観測所
Shiraki Microearthquake Observatory,
Earthquake Research Institute, University of Tokyo

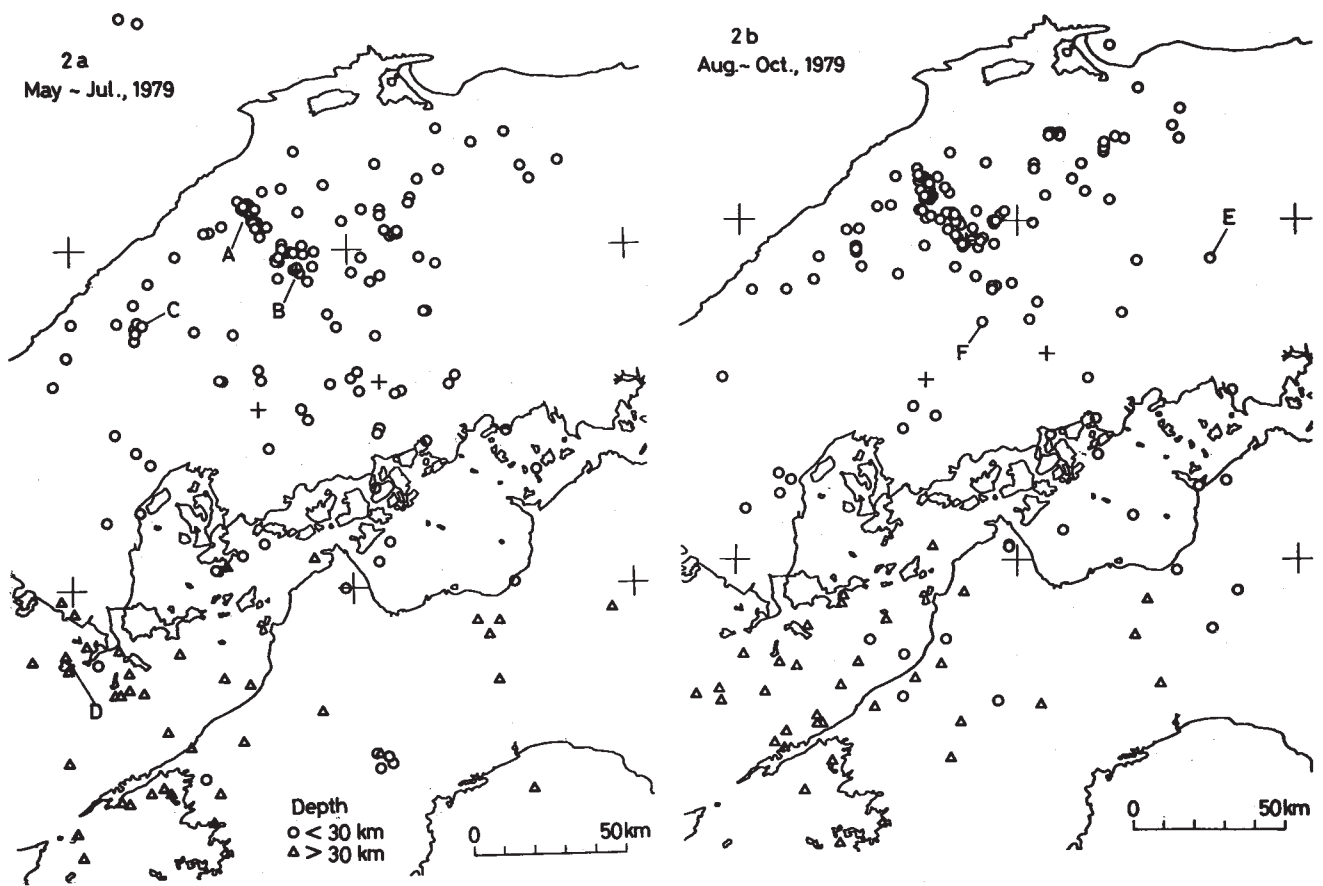
1979年7月13日、瀬戸内海西部(周防灘)でM6.1の地震が発生した(第2図D)。やや深いマンツルの地震である。震度分布を第1図に示す(気象庁の資料を含む)。山口県南部, 愛媛県北西部などで震度IV, また, やや離れた広島県中部の震度も大きく, IVかそれに近い値だったようである。一部で小被害が報告されている。余震は少なく, 3分後のM約3.0の他はほとんど観測されなかった。

これ以外の1979年5月~10月の期間の中国地方西部の主な活動としては, 5月30日島根・広島県境(M3.8, 第2図C), 9月18日岡山県中部(M3.8, E), 10月14日広島県中部(M約3.7, F)などがある。1978年6月4日の島根県中部地震(M6.1)の余震(A), また, 広島県北部ないし広島・島根県境付近の活動(B)は, この期間もあいかわらず活発に続いている。



第1図 1979年7月13日瀬戸内海西部地震(M6.1)の震度分布

Fig. 1 Seismic intensity map (in JMA scale) of the earthquake in the western part of the Setonaikai on July 13, 1979 (M 6.1).



第2図 震央分布速報 (1979年5月~10月)

Fig. 2 Preliminary distribution of epicenters (May ~ Oct., 1979).